



## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所箇所）

担 当 課：中国地方整備局 地域道路課  
担当課長名： 高橋 広幸

事業名	一般県道 <small>きたきしま</small> 北木島線 <small>かなふろ</small> （金風呂～豊浦バイパス） <small>とよら</small>	事業区分	地方道（離島）	事業主体	岡山県
起終点	自： <small>かさおかしきたきしまちよう</small> 岡山県笠岡市北木島町 至： <small>かさおかしきたきしまちよう</small> 岡山県笠岡市北木島町			延長	1.9 km
事業概要					
（一）北木島線は、北木島で唯一の県道で、島内の主要な道路である。本事業区間は、人家および石材加工場が連担し幅員狭小となっている区間の道路改築事業である。					
H10年度事業化	H 年度都市計画決定	H11年度用地着手	H12年度工事着手		
全体事業費	1.8億円（延伸区間）	事業進捗率	63%	供用済延長	1.2km
計画交通量	570 台/日				
費用対効果分析結果	B/C	総費用	（残事業）	総便益	（残事業）
	（残事業） 1.3	2.0億円	（事業費：1.6億円 維持管理費：0.33億円）	2.5億円	（走行時間短縮便益：1.9億円 走行費用減少便益：- 交通事故減少便益：0.53億円）
基準年：平成18年					
感度分析の結果：残事業について感度分析を実施					
交通量変動：B/C=1.5(+10%) B/C=1.1(-10%)					
事業費変動：B/C=1.2(+10%) B/C=1.4(-10%)					
事業の効果等					
島内の交通拠点（豊浦港・北木島港）や、災害時の避難所へのアクセス性の向上 医療施設へのアクセス向上による、島内における一次救急医療体制の強化への寄与					
関係する地方公共団体等の意見					
笠岡市長、町内会長など地元関係者から整備に対する強い要望がある。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
1期工区（金風呂漁港～豊浦港）の供用開始（H18年度）					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
1期工区がH18年度に供用開始した。今後は、豊浦港から東の延伸部分の整備を促進する。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
延伸部分について、平成22年度の供用開始をめざす。					
施設の構造や工法の変更等					
延伸部分については、平成16年度に策定した「おかやまスタンダード」に基づき、1.5車線の整備を行い、コスト縮減を図る。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上のことを勘案した結果、今後も事業の必要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					
					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。